

## 一人1台パソコンの選定とネットワーク環境の整備方針について

DX戦略本部事務局

## 1 概要

多様化する県民ニーズ等に対応し、行政サービスの利便性を維持・向上していくためには、デジタル技術を最大限に活用し業務の見直しや効率化を図ることにより、職員の仕事の仕方を変えていく必要がある。

現在の一人1台パソコンの賃貸借契約が令和6年8月31日で終了となることから、これからの職員の働き方や環境を考慮するとともに、今後のネットワーク構成も踏まえ、一人1台パソコンの令和6年度予算要求等に向けて検討する。

## 2 現状・課題、検討の視点

## 働き方や社会情勢の変化

- 業務の効率化や経費削減等の観点から業務資料等のペーパーレス化を進める必要がある。
- 職員の働き方の多様化に対応するため、場所を問わず業務ができるテレワークやWeb会議等が一般的になっている。
- サイバー攻撃による情報漏洩やシステム停止のリスクが増している。

## 現在の執務環境の課題

- 打ち合わせや会議の資料が紙媒体で共有されることが多い。
- 自席でなければ業務ができない。
- 職員が所属や勤務する場所に固定されており、フリーアドレス等の柔軟な職員配置・組織運営ができない。
- 外部からの電話に対し、庁内にいなければ対応できない。
- テレワークやモバイルワークに対応するための事務処理の電子化が不足している。

## 検討の視点(働き方の多様化に対応した環境の整備)

- 【ペーパーレス化】  
庁内の会議や打合せの際にモバイル端末で資料の共有をできるようにするほか、電子決裁の導入により、経費の削減や作業の効率化を図る。
- 【モバイルワーク】  
場所を問わず業務資料や庁内のシステム等にアクセスし事務作業ができるモバイルワーク環境の整備を図る。
- 【業務改善の継続】  
コラボレーションツールの活用や電話機能の改善等により、柔軟な職員配置・組織運営等を可能にし、業務の効率化を図る。
- 【セキュリティ】  
機密性、完全性、可用性等のセキュリティの確保を図る。

## 3 スケジュール

## 職員ニーズ等の把握

職員提案  
若手職員WG提案  
職員アンケート

DMBA  
DX推進アドバイザー

他自治体の状況

ベンダーへの調査

## 実現に向けた具体的な検討項目

【一人1台パソコン】  
形態（画面サイズ、可搬性等）  
端末認証（顔認証、カード認証等）  
セキュリティ（紛失、接続の安全性、情報漏洩対策、データレス等）  
持ち運びに関する規則等  
故障、修理対応等  
契約形態（委託、リース、レンタル、ネットワーク等も含めた一括方式等）  
文書作成、表計算等のソフトウェア  
端末管理、ライセンス管理

【テレワーク】  
ソフトウェア、ライセンス等

【ネットワーク】  
庁内での接続方式（無線（Wi-Fi、SIM）、有線）  
庁外からの接続方式（インターネット、専用線、閉域SIM）  
ネットワーク構成（αモデル、βモデル）  
IPアドレス付与方式（動的付与、静的付与）  
クラウドサービスとの接続方法  
【コラボレーションツール】  
共同編集機能  
Web会議機能、電話機能  
共有ストレージ、文書管理  
庁外からのスケジュール、メール確認等  
ステータス管理（テレワーク中、在席中、会議中等）

令和5年8月

に D 第  
お X 2  
い 戦  
て 回  
略  
方 本  
針 部  
決 会  
定 議

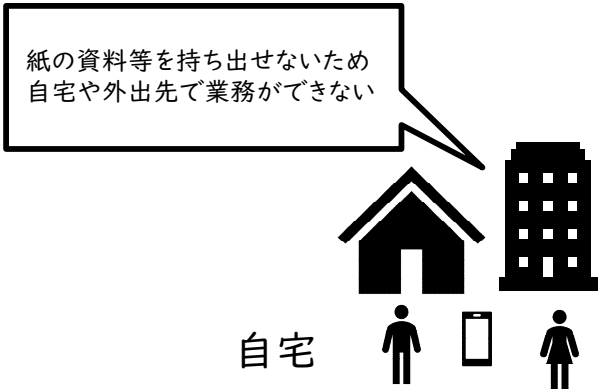
## 方針決定後の流れ

【一人1台パソコン、テレワーク】  
令和5年10月 令和6年度当初予算要求（債務負担行為）  
令和6年1月 公告開始  
3月 企画提案競技の実施  
4月～8月 契約締結  
端末調達・設置

【ネットワーク、コラボレーションツール等】  
令和5年8月の各検討項目の決定内容を踏まえ、予算要求時期や整備時期を検討する。

# 多様な働き方のイメージ(例)

## これまで



## これから

